

平成 27 年度第 2 回岩手県出資等法人運営評価委員会（要旨）

日 時 平成 28 年 2 月 16 日（火）
場 所 岩手県民会館 4 階 第 5 会議室

開会時刻 10:00

閉会時刻 11:05

出席委員 土岐委員長、遠藤委員、佐藤委員（3 名出席）

事務局 財政課総括課長 熊谷泰樹、主幹兼調査担当課長 村上宏治、
主査 細川洋平

1 開 会 （村上主幹兼調査担当課長）

2 あいさつ （熊谷総括課長）

3 議 事

（1）外部経営調査（特定課題調査）の結果について

（資料 No. 1、2 について事務局説明）

土岐委員長 外部経営調査のヒアリングに同席した際の感想として、調査者（トーマツ）の質問に法人や県所管課が丁寧に熱意を持って対応（回答）しており、回答することで頭の整理も出来ることから、非常に良い取り組みだと感じた。

まずは、前半部分（地域包括支援センター）について、ご意見があれば。

遠藤委員 事業成果のアピール不足という指摘について、沿岸地域なのか、沿岸地域以外の内陸に向けてのどちらか。また、地域ニーズの把握不足という指摘について、ニーズはあるので、事業内容の見直しが必要という前向きな指摘なのか。

事務局（細川） アピール不足という指摘について、震災復興に貢献する事業であり、ホームページ等を活用して広く県民にアピールすべき、という趣旨。また、ニーズ把握不足という指摘について、本来的には市町村が実施主体となるべきであり、その観点でのニーズ把握もすべき、という趣旨。

事務局（熊谷総括課長） 被災市町村の人員体制が厳しい状況であり、法人と連携しながら取り組みを進めているのが現状。段階を踏みながら、手順を見定めて対応するようにとの指摘と受け止めている。

土岐委員長 アピール不足という指摘について、介護人材が不足しており、県として非常に良い取り組みをしていることから、積極的なアピールに努めて欲しい。また、資料 6 頁の「アウトアップ」という文言の意味は。

事務局(細川) 調査者(トーマツ)に確認するが、削除しても特段の影響は無いと考えられるので、今後整理したい。

土岐委員長 次に、結婚支援センターに関して、何かご意見があれば。

佐藤委員 法人のホームページを拝見したが、福祉と結婚が同じ入り口なので、もう少しワクワク感がある構成とした方が良いのではないか。

遠藤委員 会社で新規事業を立ち上げるケースを想定すると、理事会で書面決議というのは、果たしてどうなのか。また、事業運営に関して、民間(NPO等)の優良事例と比較すると、法人のノウハウ不足など懸念材料がある。まずは知ってもらうことが必要であり、広報にも積極的に取り組むべきではないか。

事務局(熊谷総括課長) 初年度は立ち上げ支援という観点で取り組んだが、H28当初予算では広報活動に重点を置いたところ。

土岐委員長 資料13頁のSWOT分析の活用、類似事業を実施している市町村や民間との連携などにも留意しながら、この報告書を活用して取組みを進めて欲しい。

また、外部から質問を受けて回答することで、事業目的等を整理することが出来るため、外部経営調査は非常に有効であると考えられることから、今後も継続して実施していただきたい。

(2) いわて県民計画第3期アクションプラン(行政経営編)について

(資料No.3について、事務局説明)

土岐委員長 数値目標の設定は、今回初めてか。

事務局(細川) これまで具体的な数値目標は設定していなかったが、今回、具体的な数値目標を設定して進捗管理を行っていくという全庁方針があり、毎年度の運営評価レポートで事業目標の達成状況を整理していることを踏まえて設定した。

遠藤委員 「県が掲げる施策目標を達成することを求められる県出資等法人」という記載について、自主的な事業展開を目指す公益法人制度との関係で違和感がある。

事務局(細川) 総務省からは、人口減少などの社会課題に対応するため、第三セクター等の経営健全化と有効な活用の両立に取り組むよう要請されている。公益法人制度とのバランスが難しいところ。

土岐委員長 文言を変えることは可能なのか。

事務局(熊谷総括課長) 毎年度の見直し時期があるので、修正は可能と思われる。

土岐委員長 出資法人運営評価の取り組みに関して、県計画にしっかり記載されるということが重要。運営評価制度を継続した取り組みとすべき。また、数値目標に関しては、今回設定した目標値は必達目標(MUST)と捉えて、内部的にはさらに数値を上げていくという希望目標(WANT)を持って取組みを進めていただきたい。

(3) 平成 28 年度県出資法人運営評価関係スケジュールについて
(資料No.4 について、事務局説明)

※特に意見等なし。

(4) その他

※特に意見等なし。

土岐委員長 4期8年、後半2期4年は委員長を務めさせていただいた。委員皆様から様々なご意見をいただき感謝申し上げます。当委員会発足当初の激しい議論から、現在は法人の経営改善に向けた議論が中心となっている。委員の交代、新陳代謝によって新しい視点を取り入れた検討をしていただくことが望ましく、今後も当委員会で活発な議論を期待したい。